

Rotary



2019-2020 年度 国際ロータリー第 2670 地区
高松グリーンロータリークラブ

発行日
2020 年 01 月 23 日

2019-2020
年度国際ロータリーのテーマ

NO.
1264



WEEKLY REPORT

- 例会場: マリンパレスさぬき (瀬戸 A の間)
- 例会日: 毎週木曜日 PM6:30 より
- 事務所: 高松ホテル旅館料理協同組合
高松市西の丸町 10-15 TEL851-2661
- URL: <http://tgrc.jp>
- 会長: 濱田 吉隆 幹事: 平田 真由美

今週プログラム

- 01月23日(1264回)
委員会事業 IM について
IM 実行委員会

次週プログラム

- 01月30日(1265回)
卓話 石井会員

先週プログラム

- 01月16日(1263回)
委員会事業 職業奉仕委員
理事会

第 1264 回 例会報告 01 月 23 日

積極的に参加して、ロータリーを楽しもう!

□ 会長 報告

ロータリーの理念の基本は、職業奉仕です。
会社を倫理基準に沿った、社会に貢献できる企業にする為
会員等の企業を訪問して、教えを請い、また、アイデアを
出し合うこと。
会員の人格の向上とともに、会社の運営にもロータリーの
理念を取り入れましょう。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

真鍋会員そして香川日産自動車(株)の皆様、ありがとうございました。

職業奉仕委員会、ありがとうございました。

□ 出席報告

- 会員数 : 40 名
- 出席者数 : 28 名
- 出席率 : 77.78%
- 出席基準数 : 36 名
- 欠席者数 : 08 名
- ビジター : 0 名

12月19日 最終出席率 74.29% → 91.67%
最終欠席者名 : 石橋・箕・柏木

□ プログラム委員会より

◀ 01 月度例会 スケジュール ▶
*01/02 休会 定款第 8 条により
*01/09 1262 回 新年例会 友翠会
*01/16 1263 回 職場移動例会 香川日産自動車 職業奉仕委員会
*01/23 1264 回 委員会事業 IM について IM 実行委員会
*01/30 1265 回 卓話 石井会員

□ メイクアップ

□ ニコニコ ビジター

・なし

- ・ 塩田 (01/10 さぬき RC)
- ・ 高嶋由昌・石井・越智 (01/14 高松東 RC)
- ・ 高嶋浩司 (01/14 高松中央 RC)
- ・ 濱田・横井 (01/15 丸亀東 RC)
- ・ 太田・小原 (01/15 坂出東 RC)
- ・ 松野博文・八田 (01/15 高松南 RC)

ごあいさつ

水泳競技の池江選手が白血病であることを自ら公表し、多くの人々が衝撃を受けました。その後、池江選手への激励と支援の輪が大きく広がりました。白血病、骨髄移植などへの関心が高まったこともあり骨髄バンクへの関心が拡大しています。その一方で骨髄移植への正しい知識が欠けたり、あるいは骨髄移植に対する誤解があったりすることによって全ての患者を救うのに十分なドナー登録者数に達していないのが現実です。もし骨髄バンクへの登録者がぐっと増えたら白血病などで亡くなる方が大幅に減ります。骨髄提供は簡単にできるものではありません。しかし、これこそ奉仕の真髄「超我の奉仕」の一つのカタチではないでしょうか。ただ残念ながらロータリアンの多くはドナー登録できる54歳以下という年齢制限を越えています。私たちにできることは、骨髄バンクの事実・実態を知り、それを広めることではないかと感じています。ぜひ、今回のインターシティミーティングで事実を知ってください。一人でも多くのロータリアンと、そのご家族や友人の参加をお待ち申し上げます。

※日本骨髄バンクへのドナー登録は18歳以上54歳以下。実際に提供できるのは20歳以上55歳以下の健康な方。

香川第 I 分区ガバナー補佐 角田朝剛
香川第 II 分区ガバナー補佐 夏見良宏

2019-2020年度
国際ロータリー第2670地区
香川第I・第II分区合同IM

IMテーマ **奉仕の真髄**
～誰かを救う喜び～



2020年2月29日 ±
会場：サンポートホール高松 大ホール
受付開始12:00

ホストクラブ：高松グリーンRC・丸亀RC

会場のご案内
サンポートホール高松 大ホール
香川県高松市サンポート2-1
TEL (087) 825-5000



交通のご案内
会場に駐車場はございません。公共交通機関をお使いになるが、周辺の駐車場をご利用ください。

主催
第 I 2670 地区 ガバナー 大庭浩輔
香川第 I 分区ガバナー補佐 角田朝剛
香川第 II 分区ガバナー補佐 夏見良宏
IM実行委員長 高松グリーンRC 梶井 実
ホストクラブ会長 高松グリーンRC 濱田古隆
ホストクラブ会長 丸亀RC 齋賀 運

献血に関して
献血時間：11:00～16:00
受付：1階エントランス広場
香川県赤十字血液センター
かがわ骨髄バンクを応援する会

会場のご案内

交通のご案内

主催

献血に関して

IM インターシティミーティングとは

香川第 I 分区・第 II 分区18クラブのロータリアン約800名が一堂に会し、テーマを決め、それに対しての問題を提起しながら意見を述べ合い考え、勉強する場です。ロータリー活動の指針について繰り返します。

2019/2020年度は「奉仕の真髄」と題して、誰かを救う喜びを考える機会とします。

アトラクションとして、香川大学の学生さんたちの若さあふれるパフォーマンスをお楽しみ下さい。

2019-2020 年度
国際ロータリー第 2670 地区
香川第 I・第 II 分区
合同インターシティミーティング

プログラム

- 12:00 受付開始
- 13:00 閉会・点鐘
- 13:30 パフォーマンス
- 14:00 基調講演
- 14:45 シンポジウム
- 15:30 閉会・点鐘

骨髄バンクって？

命のボランティア。それがドナー登録です

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病や再生不良性貧血などの病気によって、正常な造血が行われなくなってしまった患者さんの造血幹細胞を、健康な方の造血幹細胞と入れ替える（実際はドナーから採取された造血幹細胞を点滴静注することにより、造血機能を回復させる治療法です。日本では「骨髄バンク事業」が1992年から開始され、これまでに多くの患者さんを救う実績をあげています。日本で骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも2000人を数えます。しかし、一般的に他人から骨髄移植ができる確率は1万人に1人とされています。そのため一人でも多くの患者さんを救うためには、さらに多くのドナー登録が必要です。ドナーを待つ患者さんにとっては、あなたの登録が、大きな希望になります。

基調講演

「白血病からの生還 ～命をつなぐ絆～」

全国骨髄バンク推進連絡協議会元会長 現顧問 大谷 貴子 氏

大谷貴子さんは、25歳の時に白血病になりました。闘病中にアメリカに骨髄バンクがあることを知りましたが、当時の日本には骨髄バンクが無く死を覚悟しました。その後、幸いにも骨髄移植を受けて生還しました。その経験から、骨髄バンクの必要性を訴えて日本骨髄バンク創設に尽力した一人です。全国骨髄バンク推進連絡協議会の元会長で、現在は顧問を努めながら全国各地で骨髄バンク啓蒙活動を積極的にこなしています。「プロジェクトX」や「情熱大陸」など多くのテレビ番組にも取り上げられました。関東在住ですが、チャキチャキの関西弁で笑いをとり聴衆の心を鷲掴みにする感動的な講演「命の授業」が好評を博しています。



シンポジウム

「奉仕の神髄 ～誰かを救う喜び～」

シンポジウムでは、患者の立場から、ドナーの立場から、医師の立場から、一般の若者の立場から、など様々な角度から骨髄バンクの真実と側面をあぶりだします。

シンポジスト
香川大学医学部付属病院血液内科 藤田 晴之 氏
全国骨髄バンク推進連絡協議会顧問 大谷 貴子 氏
三本松高校 三好 輝徳 氏
香川大学ロータリーアクトクラブ 谷口 若奈 氏

□ 例会臨時変更

- 01月27日(月)高松北RCは、
01月27日(月)12:30「高松防災合同庁舎危機管理センター（移動例会）」に変更
- 01月28日(火)高松東RCは、
01月28日(火)18:30「JR 絆ルメント高松（親睦夜間例会）」に変更

□ 休会

・ なし

01月23日 《一言コラム》

トイレの貼り紙

「トイレの中まで失礼します。いつもキレイにご利用いただき、ありがとうございます。心穏やかに的を外さず。」感謝の気持ちにユーモアを添えると明るくなります。

人をその気にさせる秘訣は、ちょっとした工夫にあります。相手をその気にさせる、魔法の言葉の伝え方を工夫しましょう。

(職場の教養より)